

# AAF NEWS

VOL.28

2022  
AUTUMN

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

## CONTENTS

NEWS

SITE REPORT

ブッダ・スクールで教室棟を増築します

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



今年のブッダ・スクール卒業生 10年生修了試験後の記念撮影

## NEWS

ブッダ・スクールの便所棟、シャワールーム棟が竣工しました

[>次ページに詳細を掲載](#)

# NEWS

## ブッダ・スクールの便所棟、シャワールーム棟が竣工しました

2022年3月に着工しましたブッダ・スクールの便所棟、シャワールーム棟が9月に竣工しました。

生徒数の増加に加え、寄宿舎で暮らす生徒たちの衛生面にも配慮して建設した施設です。

教室棟と同様、石積みの壁に木で梁を架け、天然スレートで屋根を葺くというスタイルを踏襲しながら、石積みの壁の内部に鉄筋コンクリートで耐震補強を施しています。

建物の構成は、南北に細長い敷地形状に合わせて便所棟とシャワールーム棟を独立した建物として縦列に配置し、連続した下屋（げや／建物から張り出してつくられた片流れの屋根）でつないでいます。

この下屋は設計段階では計画していなかったのですが、教室や寄宿舎から少し離れた場所にあるため、雨天時にも濡れずに順番待ちができるようにと、工事段階で追加されたものです。コロナ禍で現地に行くことができない状況が続いていたため、直接学校側との打合せや施工の確認はできませんでしたが、フィルムでもスマートフォンが使えるようになったことにより、このような期中の設計変更の対応も日本からタイムリーにできるようになりました。



建物の東側に設けられた下屋

また内部はこれまでの建物では石積みの壁を現した仕上がりでしたが、今回は衛生面とメンテナンスにも配慮して腰と床をタイル貼りとしています。フィルムではタイルを入手することができないので、カトマンズやゴルカといった都会で調達して運搬しないといけないのですが、2015年の大地震以降、車道の整備が進み、建設資材の運搬も以前に比べてやりやすくなってきています。ブッダ・スクールが開校した当時は車の通れる道まで徒歩で3～4日かかっていたのが、雨季を除けば今ではフィルムから徒歩1日の村まで車が入れるようになっています。



南東から見下ろす



タイル貼りの便所棟内部



西側外観

ただ建設資材の運搬がしやすくなったことで、施工の効率化や合理化が図れるようになった一方で、マナスル街道周辺の村に安価で施工が容易な建材（波型のカラー鋼板や樹脂製の板、コンクリートブロックなど）が流通しはじめ、自然の素材だけで構成されていたこの地域の景観が、年々失われていっているという現状もあります。フィルム村の発展に伴い、ブッダ・スクール周辺でも赤や青のトタン屋根、コンクリートブロックの壁にカラフルな塗装を施した建物などが散見されるようになってきました。ネパール政府もヒマラヤの環境を保護しようという方針を出しながらも、経済性や利便性を優先せざるを得ないという局面もあり、今後の大きな課題であるように感じます。

# SITE REPORT

## ブッダ・スクールで教室棟を増築します

AAF NEWS vol.27でもお伝えしましたように、現在、ブッダ・スクールでは小学校入学前の幼稚園生と1～10年生までが就学しています。教室は11教室ですが、生徒数は400人を超え、学年によっては1クラス50人以上となることもあり、かなり手狭になってきています。2021年にネパール政府により4教室が増築されて15教室となり、多少1教室当たりの生徒数は緩和されましたが、ゴルカ北部で6～10年生はこの学校しかなく、今後も生徒数の増加が予想されます。さらに2016年の教育基本法の改正により、9～12年生までが中等教育となったため、この学校でも12年生まで学べるよう2学年増やすことが検討されています。近い将来には幼稚園1教室、1～5年生5教室、6～8年生6教室、9～12年生8教室の計20教室が必要となることを踏まえ、AAFでは次期プロジェクトとして5教室分の校舎の増築を計画しています。具体的には3教室1棟、2教室1棟の計2棟、下図のオレンジに着色した部分の建物になります。この教室棟2棟が竣工しますと、2000年からスタートしたブッダ・スクールのこのキャンパスでのマスタープランがすべて完了することになります。しかし現状ではこの2棟を建設するためにはまだまだ資金が不足しています。

# IMFORMATION1

## AAFホームページから寄付ができます

これまでAAFへのご寄付は払込取扱票などにより、ゆうちょ銀行の口座をご利用いただいていたのですが、11月よりホームページからお申込みいただき、クレジットカードや銀行振込も利用できるようになりました。下記URLまたはQRコードからアクセスいただきご利用ください。

<https://aafjpn.org/contribution/contribute/>

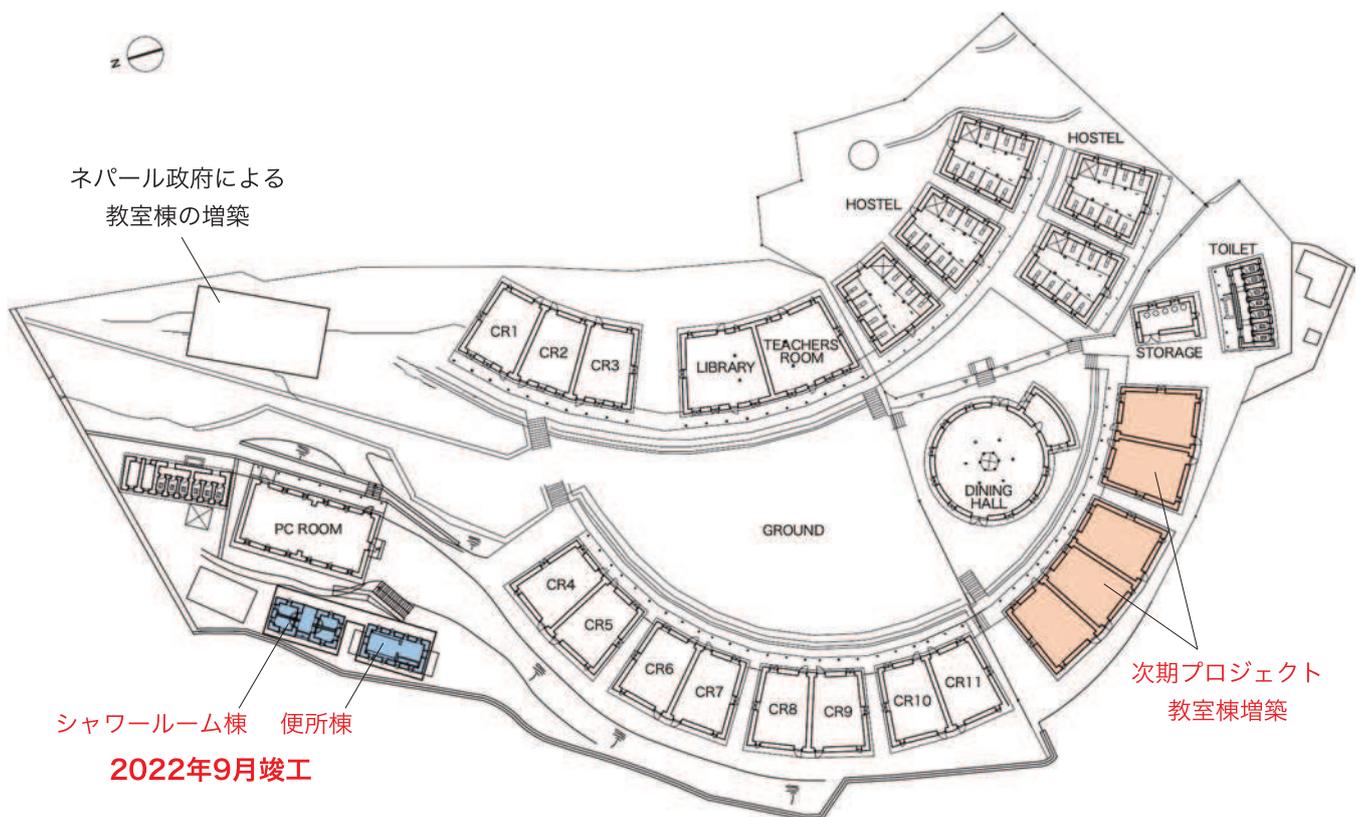


またAAFは本年3月4日より認定NPO法人となりましたので、所定の手続きを行うことにより、税額の控除を受けることが可能になります。詳しくはAAFのホームページに掲載していますので、こちらも併せてご覧ください。

<https://aafjpn.org/contribution/kifu-koujo/>



AAFの活動は皆様からのご寄付により成り立っています。引続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# AAF PROFILE

## AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィルムでの学校建設(2003年竣工)を始め、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

### AAFの活動と実績

- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィルムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィルムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィルムの学校が着工
- 2003.04 フィルムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)' 竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう! 建築家のボランティア奮闘記(彰国社) を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動ーヒマラヤの学校建設ー」展を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館) に出展
- 2007.05 日本建築学会賞(業績) 受賞
- 2008.08 フィルムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出展
- 2009.05 ブッダ・スクールの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後ーAAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィルムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 ブッダ・スクールに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡ーAAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエークウッド/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィルムのブッダ・スクールが被災 寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2018.09 5棟目の寄宿舎が竣工
- 2019.06 地震で被災した便所棟の再建工事が完了  
ブッダ・スクールの震災復興事業が終了する
- 2021.03 ブッダ・スクールでコンピュータールーム棟が竣工
- 2022.03 AAFが認定NPO法人となる
- 2022.09 便所棟、シャワールーム棟が竣工

# INFORMATION2

## AAFの2023年カレンダーができました

2023年のAAFカレンダーができました。

ご希望の方は1口1000円の寄付+送料(下記参照)をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。

例年卓上型のCDケース入りのカレンダーをお届けしてきましたが、環境に配慮しプラスチックごみを少しでも削減するため、昨年からカレンダー本体のみのご提供とさせていただきます。すでに以前のAAFカレンダーをお持ちの方はケースを再利用していただくよう、お願いいたします。ケースをお持ちでない方は申込時に「ケース希望」とお知らせいただければお送りさせていただきます。どうぞ趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



本体サイズ11.9cm×13.8cm×0.3cm

>>>申込方法①: AAF公式サイトのカレンダー申込ページ(下記URLもしくは右のQRコード)からお申込みください



<https://aafjpn.org/contribution/calendar2023/mousikomi/>

>>>申込方法②: ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」と記入の上、寄付金(1口1000円)と送料をお振込みください(記入がない場合は通常の寄付扱いとなります)

※送料/1~2口:200円 3~5口:250円 6~10口:350円  
11口以上:400円 ケース希望の場合は1個につき+50円

## AAFの賛助会員を募集しています

### >>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込みください

### >>>会費

一般賛助会員:1口 5,000円(年額)  
法人賛助会員:1口50,000円(年額)

ゆうちょ銀行払込取扱票による送金は下記口座をお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください  
※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください  
※個人情報情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

### 編集後記

日々の仕事も工事監理もリモートである程度できるようになりましたが、子どもたちの元気な姿を見に、久しぶりに現地に行ってみたくなりました。T

